

矢作川流域圏懇談会通信

H26 川部会編 vol. 1



発行日：平成 26 年 5 月
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆今年度、1 回目の川部会WGが開催されました！

矢作川流域圏懇談会も 5 年目に突入しました。今年度初めての川部会の開催とあって、多方面から 25 名の参加をいただき、川部会WGの今年度の活動計画や市民企画会議からの提案、家下川モデルの湛水防除事業について、意見交換を行いました。



日時：平成 26 年 5 月 30 日（金）18:00～20:40
会議場所：豊田市職員会館 2F 第 1 会議室
参加者：25 名（事務局含む）

◆主な意見交換内容

1. 本日の話し合いで決まったこと



■市民企画会議からの報告及び提案について

- 流域連携の各テーマの担当者は、以下のとおりに決定しました。
ゴミ・流木：内田氏、土砂：矢作川漁協関係の方（暫定*）、木づかい：光岡氏
（※矢作川漁協関係の方には、事務局から依頼予定）
- 上記3テーマの他、山部会とは山の植生による水源涵養量について、海部会とは河口部分（干潟環境やヨシ原環境など）について、連携して考えていく必要がある。



■家下川モデル：湛水防除事業（上郷2期地区）について

- 湛水防除事業について、設計がまだ確定している状況ではないことがわかり、概略設計段階の検討内容で、年末頃を目標に豊田加茂農林水産事務所と意見交換を行うこととした。
- 川部会WGとして、水面の高さがどういう形が望ましいかについて、今後、検討を進める必要がある。
- 生き物の移動障害について、豊田加茂農林水産事務所だけでは、解決できない課題であることがはっきりした。
- 今後、豊田土地改良区（承水溝）、豊田市公園課（長池）、豊田加茂建設事務所（家下川 - 承水溝の接続）などの、関係団体（管理者）と意見交換できるとよい。



■今年度の活動計画について

- 当面のスケジュールは、参考資料4（6月本川モデル、7月地先モデル、8月本川モデル）のとおりとする。
- 6月本川モデルは、6月27日午後13:00～17:00（予定）とし、白浜工区や渡合地区の現地確認と意見交換を行う。
- 7月地先モデルは、7月11日（金）午後（予定）とし、岡崎市、安城市の方で現地を見ることを想定する。
- 家下川モデルは、9月開催とし、関係団体（豊田市公園課など）と意見交換を行いながら、望ましい形について検討する。

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、建設専門官 真柄
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト（yahagigawa@ijinet.or.jp）までお送りください。



2. 意見交換



●出席者による主な意見交換内容は、以下のとおりです。

(1) 市民企画会議からの報告及び提案について

市民企画会議からの報告及び提案について、松井氏より報告いただいた。

- ・勉強会の開催が7月1日豊田市職員会館で、名古屋大学辻本先生からお話しいただくことになった。(事務局)
- ・流域連携の担当者には、専門性は求めているが、山・海はある程度専門性のある人が選ばれた。(事務局)
- ・川にとって土砂が最も重要であり、漁協関係の方ははずせないのではないか。(内田)
- ・3つのテーマ以外に、流域連携の取り組みになるテーマはあるか。(事務局)
- ・流域を流れていくものとして、水と物質と土砂と人の意識が考えられる。水量、水質の問題はあるが、切実な問題として拳がっていないのであれば、その3つのテーマでよいのではないか。(鷲見)
- ・活動のノウハウの共有がテーマとしてあってもよいのではないか。(鷲見)
- ・矢作川は水量が少ないことで有名で、それによる弊害は多いと思う。山の植生がどうなると涵養量が多くなるか。また、海側へは、干潟環境、ヨシ原環境について、海と連携して考えていく必要がある。(本守)

(2) 家下川 湛水防除事業(上郷2期地区)について

豊田加茂農林事務所の山田氏、松澤氏より、採択された湛水防除事業について、説明を伺った。

- ・2つの排水機場を統合して1ヶ所に整備する予定で、上郷第2排水機場の撤去、新機場の整備、上郷柳川瀬排水機場の撤去というステップで事業を進める予定である。工期は、平成26年度～平成32年で、平成27年に第2排水機場の一部について撤去開始を予定している。(松澤)
- ・承水溝については、改修による影響はあるか。また、長池のつながり部分は、どうなるか。(阿部)
- ・承水溝・長池の流入口へどう影響するか、まだ今後の検討である。(山田)
- ・承水溝・長池の段差は、魚の移動阻害の一つで、理想の方法はないかと部会で絵を書いて提案していくべきと思う。(光岡)
- ・公園からの土砂が承水溝にかなり溜まっている。全面的でなくとも、工夫しながら土砂を浚渫できると、生物の棲みかになる。ポンプ稼働時の水流を使って、浚渫した土砂の形状が維持できるとよい。(阿部)
- ・土砂が溜まっているというのは、維持管理の範囲なので、湛水防除事業では浚渫自体が難しいが、遊水池の浚渫ができる適正化事業というものがあ、その事業であれば可能性はあるのではないか。(山田)
- ・実施設計は、年度末に成果が出る。年末頃に概略設計段階の検討結果で説明し、意見交換することは可能である。(鈴木)
- ・今回は、長池を管理している豊田市公園課に来てもらってはどうか?(内田)

(3) 今年度の活動計画について

- ・6月本川モデルについて、白浜工区付近の状況が少しずつ変化してきており、現地確認してもらおうと面白いと思う。また、渡合地区は、瀬替えをした後のワンドがよい状態になってきている。今であれば、産卵床としてなど実験ヤードとして利用できる。(小林)
- ・WGへの参加者を増やしていくという意味でも、モデルを出た取り組みが今後必要という議論があった。(事務局)
- ・地先モデルでは、以前にいろんな活動団体を巻き込んでいきたいという話があった。きっかけとしてアンケートは良いと思うが、その後の活動団体が抱えている課題なども検討の対象にできると良い。(光岡)
- ・次回地先モデルは、岡崎市、安城市の方で現地を見ることを想定する。細かい場所については、メールでのやりとりとする。(内田)
- ・活動団体に簡単なアンケートを出してはどうか?(本守)

今後の川部会WGの予定



■第18回(本川モデル)

日時：平成26年6月27日(火)13:00～17:00

場所：豊田市職員会館(予定)

内容：現地確認＋会議

- ・白浜工区の変化状況について
- ・渡合地区対岸等の状況について

■第19回(地先モデル)

日時：平成26年7月11日(金)午後(予定)

場所：未定

内容：現地確認＋会議

